

# 保育キャリア基礎演習 数的推理授業見学感想

短期大学部 教授

田口雅夫

本日の授業見学は前回（2月12日）同様の数的数理についてであった。例題の解説から始まり類題、そして確認テストまでの流れは納得して聞かせていただいた。しかし前回同様に自分も学んできたはずではあるが難しく思えた。そんな問題を近藤先生の解説に答えている学生が頼もしく見えた。その折、すべての教科に言えることとして、勉強は常に継続することの大切さを実感できたことから学生にも伝えたいと思った。

見学授業の冒頭の中島総長より、公務員の優位性（いろいろな意味での優れた地位を言われているのであろうと推察しました）について、その公務員試験に合格するためにもこのような試験で得点を取得する大切さを説明され、学生たちへの就職試験に対する方向性を提示しておられました。

その後、需要は例題の解説が始まり本学のマニュアルに沿って、学生による音読をしながら問題の解き方についてその方法を特殊なパソコンアプリを使用して実施しておりました。この手法はとても分かりやすく、口頭による説明とは全く違い理解の度合いを高まると考えられました。

見学授業の途中で中島総長より、問題の時からについてお解説方法を学生に答えさせる手法を提案され、その答える状況に手間取っている学生には徹底的に指導をするように、理解できていない学生を探す大切さを話されていました。更に「落ちこぼれがあってはならない、全学生に理解させてから次に進むように」とのコメントを行っておられました。

近藤先生が本日の授業で丁寧な解答までの流れをされていましたが、単なる確認だけではなく、今回の授業見学では一人でも落ちこぼれの無い指導を徹底する必要性が目標でもあるとの認識をもって今後の授業へ生かしていきたいと思う次第です。